

お知らせ

平成 27 年 6 月 2 日

同時資料提供先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、
 岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者クラブ、
 山口県政記者会、山口県政滝町クラブ、中国地方建設記者クラブ

水生生物調査に延べ 2,380 名参加！

良好な水質状況をみんなで実感！

今年度も参加者を募集！！

～中国地方整備局 平成 26 年度 水生生物調査の実施結果について～

＜水生生物調査とは？＞

川底にどのような生物が住んでいるかを調べることで、その地点の比較的長い期間の水質の状態を簡易的に判定する、住民参加型の調査です。誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、昭和 59 年から小・中学生、高校生を中心に、多くの方々に参加していただいています。**水生生物調査は、河川と親しみながら調査をすることで、身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。**

＜平成 26 年度実施状況＞

中国地方の一級河川の 112 地点において、
**6 月から 12 月にかけて小・中学生、高校生を
 中心に 87 団体、延べ 2,380 名の参加を得て実施
 しました。**



水生生物の調査風景

＜平成 26 年度調査結果＞

水質を [I] きれいな水～ [IV] 大変きたない水の 4 つの階級に分けて取りまとめた結果、

[I] きれいな水および [II] ややきれいな水と評価された地点が全体の 95% となり、概ね良好な結果となりました。

きれいな水の生物 カワゲラ



きれいな水の生物 ヘビトンボ



国土交通省 中国地方整備局

○問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

電話番号 (082) 221-9231 (代表)

(担当) 河川部 流域・水防調整官 さきおか 笹岡 そういち 総一 (内線 3518)

(担当) 河川部 建設専門官 おかやま 岡山 ゆきひこ 幸彦 (内線 3758)

(広報担当窓口) 総務部 広報広聴対策官 ひらかわ 平川 まさふみ 雅文 (内線 2117)

企画部 環境調整官 たお 田尾 かずなり 和也 (内線 3114)

※全国水生生物調査に参加を希望される場合のお問い合わせ先

平成 27 年度も市民の方々の参加を得て全国水生生物調査を実施します。調査への参加を希望される方は以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

- 中国地方整備局の窓口（一級河川直轄管理区間）

事務所名	HP の URL	担当水系名	電話番号	担当部課名
鳥取河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/	千代川	0857-22-8435	河川管理課
倉吉河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/	天神川	0858-26-6221	河川管理課
日野川河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa/	日野川	0859-27-5484	調査設計課
出雲河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/	斐伊川	0853-21-1850	水環境課
浜田河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/hamada/	江の川(島根県) 高津川	0855-22-2480	河川管理課
岡山河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/okakawa/	吉井川 旭川 高梁川	086-223-5101	河川環境課
福山河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/	芦田川	084-923-2620	調査設計第一課
三次河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/	江の川(広島県)	0824-63-4121	調査設計課
太田川河川事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/oitagawa/	太田川 小瀬川	082-221-2436	管理第一課
山口河川国道事務所	http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/	佐波川	0835-22-1890	河川管理課
中国地方整備局	http://www.cgr.mlit.go.jp		082-221-9231	河川部 水災害予報センター

- 各都道府県の環境部局 (<http://www.env.go.jp/kids/water.html>)

平成26年度

水生生物による水質の簡易調査の実施結果

中国地方整備局

調査風景－1

千代川水系 千代川 ^{もちがせ} 用瀬地点（鳥取県）



天神川水系 小鴨川 ^{おがもばし} 小鴨橋地点（鳥取県）



日野川水系 日野川 ^{ごかせき} 五ヶ堰下流地点（鳥取県）



斐伊川水系 神戸川 ^{まきおおはし} 馬木大橋地点（島根県）



高津川水系 匹見川 ^{よこた} 横田地点（島根県）



江の川水系 江の川 ^{つがほんごう} 都賀本郷地点（島根県）



調査風景－２

旭川水系 旭川 ^{みの}三野地点（岡山県）



高梁川水系 高梁川 ^{たたいげき}湛井堰地点（岡山県）



吉井川水系 吉井川 ^{わけばし}和気橋地点（岡山県）



芦田川水系 芦田川 ^{やまてばし}山手橋地点（広島県）

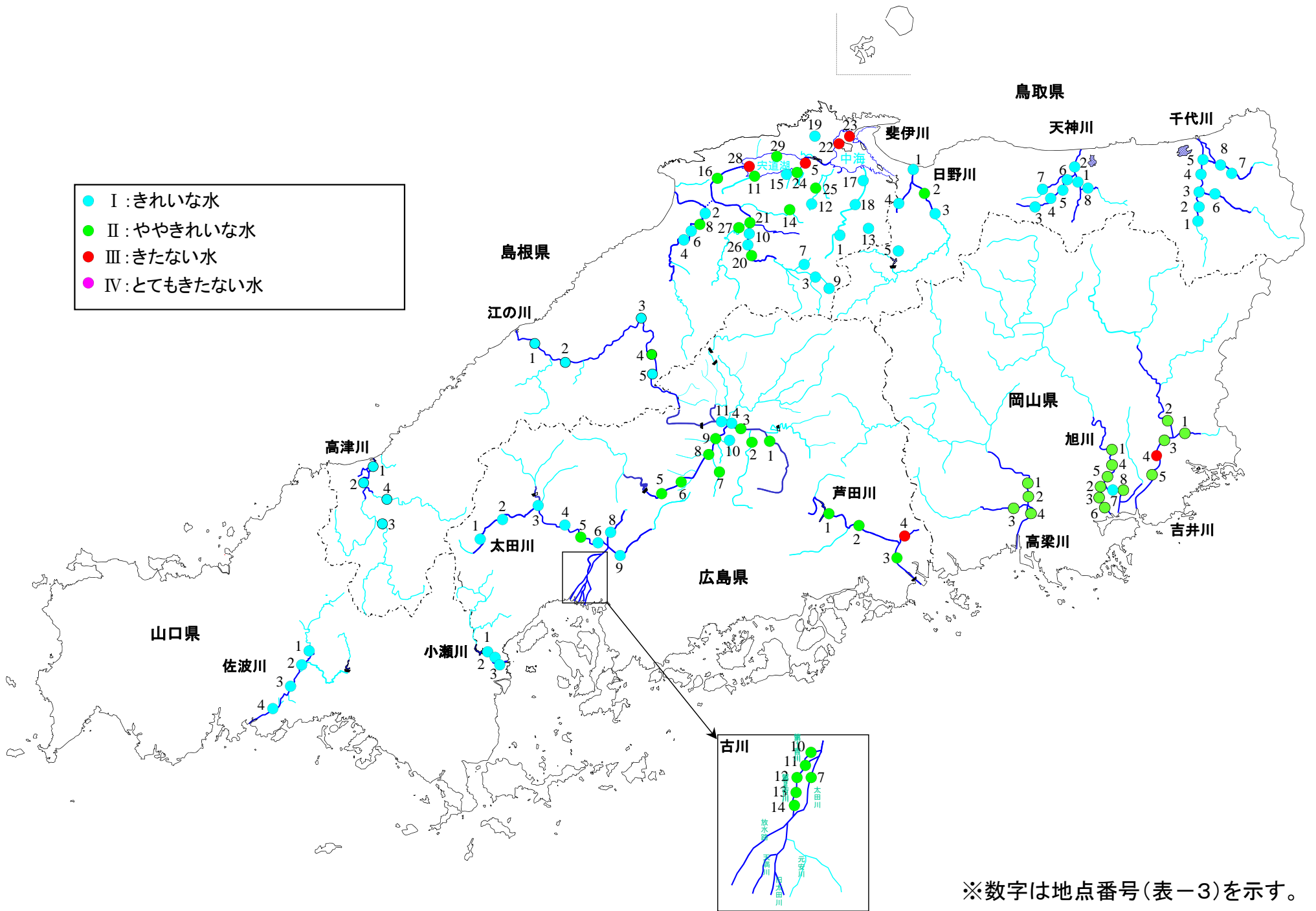


太田川水系 太田川 ^{しばきがわかりゆう}柴木川下流地点（広島県）



佐波川水系 佐波川 ^{ほんばし}本橋地点（山口県）





※数字は地点番号(表-3)を示す。

調査地点概要図(中国地方整備局)

1. 調査の目的

河川の中にはさまざまな生物が生息していますが、特に川底に生息する生物（水生生物）は、過去から調査時点までの長時間の水質状況を反映した結果でもあります。

したがってどのような生物が生息しているかを調べることによって、その地点の比較的長い期間の水質の状態を知ることができます。

国土交通省と環境省では、それぞれ昭和59年から「水生生物による水質の簡易調査」（以下「水生生物調査」という）をはじめています。

水生生物調査は、誰にでも簡単に水質状況が判定できるので、小・中学生、高校生を中心に、多くの方々に参加していただき、河川と親しみながら、河川の水質状況を把握し、水質保全施策の基礎資料を得るとともに、調査を通じて私達の身近な存在である河川に対して、河川愛護、水質浄化等の関心を高めてもらうことを目的として実施しています。

2. 参加者数と調査地点数

小・中学生を中心に、87団体、延べ2,380名の参加を得て、中国地方一級河川の112地点で実施。

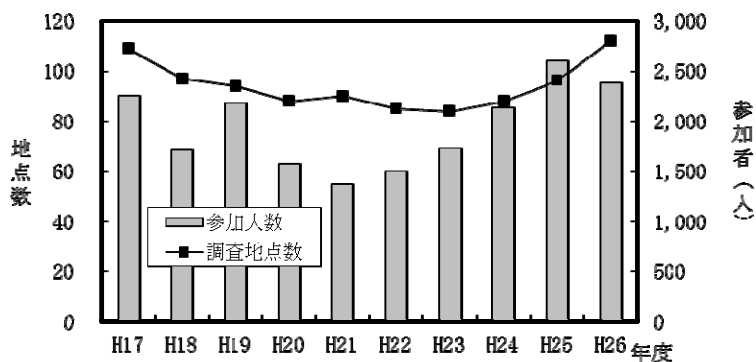


図-1 参加者数と調査地点数

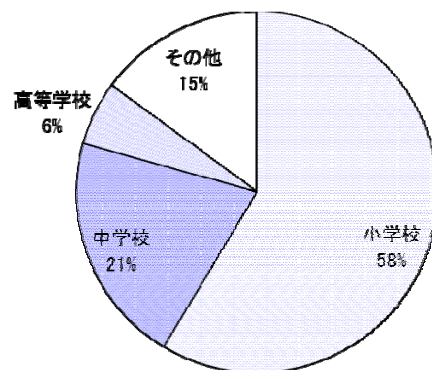


図-2 平成26年度 調査参加団体構成比

平成26年度の調査は、中国地方の一級河川の112地点において、6月から12月にかけて、87団体、延2,380人の参加を得て実施しました（P.7 表-2参照）。

多くの子供達に調査をしていただいたことで大変貴重なデータを得ることができました。子供達にとっても、水に親しみながら調査をしたことで”きれいな川”に対するより具体的なイメージを持って頂く機会になったと思います。

3. 調査の方法

この調査は、国土交通省河川局(現：水管理国土保全局)編「川の生きものを調べよう～水生生物による水質判定～」を基に、川底に生息する水生生物を採取し、表－1に示す『水のきれいさ』の指標となっている生物の種類数と個体数により、川の水質状況を判定するものです。

表－1 水のきれいさの程度（階級）とその指標となる生物

I きれいな水の生物		II：ややきれいな水の生物	
カワゲラ	ヘビトンボ	コガタシマトビケラ	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ	ブユ	オオシマトビケラ	スジエビ
ナガレトビケラ	アミカ	ヒラタドロムシ	○ ヤマトシジミ
ヤマトビケラ	サガワガニ	ゲンジボタル	○ イシマキガイ
	ウスムシ		カワニナ
III：きたない水の生物		IV：とてもきたない水の生物	
ミズカマキリ	○ ニホンドロソコエビ	セスジユスリカ	サカマキガイ
タイコウチ	タニシ	チョウバエ	エラミミズ
ミズムシ	ヒル	アメリカザリガニ	
○ イソコツブシ			

注)○は、海水の少し混ざっている汽水域の生物

・判定方法

水質階級の判定方法は、調査地点毎に出現した個体数の多かった指標生物2種類（ただし、3種類の指標生物についてほぼ同じ個体数であった場合は、最大3種類）については2点、それ以外の指標生物については1点として点数をつける。

- ・各階級ごとに各指標生物の点数を合計する。
- ・点数のもっとも高い階級をその地点の水質階級と判定する。
- ・ただし、複数の階級について同点がある場合には、水質の良い階級をその地点の階級とする。例えば、階級Iと階級IIが同点の場合は階級Iとする。

4. 調査結果概要

水質階級 [I]、[II] と判定された地点が全体の 95%

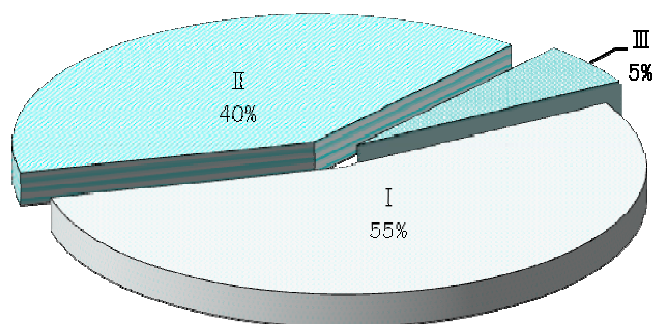


図-3 平成26年度 水質階級構成比

水生生物からみた中国地方の一級河川の水質状況は、調査地点112地点のうち、「I：きれいな水」が61地点、「II：ややきれいな水」が45地点、「III：きたない水」が6地点、「IV：とてもきたない水」はありませんでした。

この結果、[I]、[II]と判定された地点が全体の95%となり、中国地方の一級河川の水質は良好な状態を保っています。

水質の良好な状態を保つため、今後も生活排水などの河川の水質に影響を及ぼすものに対する一人一人の心掛けが必要です。

中国地方の一級河川の水質は、良好な状態を維持

図-4は、過去10年間の判定水質階級比率の推移を表したのですが、階級IとIIを合わせた比率は95～99%であり、中国地方の一級河川の水質は、継続的に良好な状態を維持しています。

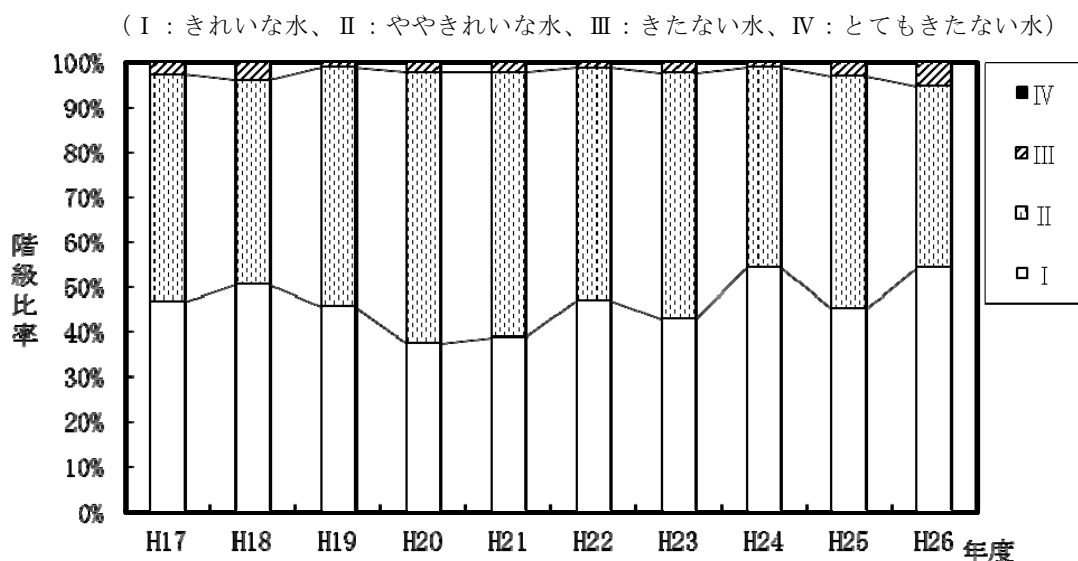


図-4 判定水質階級比率の推移

5. 河川別参加者、参加団体等集計

表－2 水生生物による水質の簡易調査「平成26年度実施結果」

(水質階級 I：きれいな水 II：ややきれいな水 III：きたない水 IV：とてもきたない水)

県名	水系名	調査 地点数 (地点)	参加 人数 (人)	参加 団体数 (団体)	判定水質階級 (地点)				
					I	II	III	IV	未評価
鳥取県	千代川	8	242	6	8				
	天神川	8	255	8	8				
	日野川	5	79	4	4	1			
島根県	斐伊川	29	681	22	15	10	4		
	江の川下流	5	100	6	4	1			
	高津川	4	100	3	4				
岡山県	吉井川	5	80	4		4	1		
	旭川	8	111	3	1	7			
	高梁川	4	13	1		4			
広島県	江の川上流	11	368	11	3	8			
	太田川	14	139	7	7	7			
	芦田川	4	41	5		3	1		
広島県・山口県	小瀬川	3	0	0	3				
山口県	佐波川	4	171	7	4				
合計		112	2,380	87	61	45	6	0	0
					54%	40%	5%	0%	
前年 (平成25年)		96	2,600	73	43	49	3	0	1
					45%	52%	3%	0%	

※合計の%は未評価を除く地点での評価である。

【参加団体内訳】		
小学校	51団体	1,680人
中学校	18団体	279人
高等学校	5団体	137人
その他	13団体	284人

表-3 水生生物による水質の簡易調査「平成26年度実施結果」(鳥取県)

(水質階級 I:きれいな水 II:ややきれいな水 III:きたない水 IV:とてもきたない水)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H26判定水質階級	備考
千代川	千代川	1	用瀬	鳥取市用瀬町用瀬(雛橋下流)	7月2日	鳥取市立用瀬小学校	26	I	鳥取河川国道事務所
	千代川	2	佐貫	鳥取市河原町佐貫(県道本鹿・高福線佐貫橋下流)	7月15日	鳥取市立散岐小学校	9	I	
	千代川	3	袋河原	鳥取市河原町袋河原(県道河原・郡家線出会橋直上流)	9月3日	鳥取市立河原第一小学校	38	I	
	千代川	4	源太	鳥取市源太(県道猪ノ子・国安線源太橋直上流)	9月22日	鳥取大学附属小学校	37	I	
	千代川	5	行徳	鳥取市古市(県道鳥取・鹿野・倉吉線千代大橋直上流)	9月2日		37	I	
	八東川	6	片山	鳥取市河原町今在家(市道徳吉・片山線今在家橋上流)	9月22日	直営	-	I	
	袋川	7	町屋	鳥取市国府町町屋(市道庁1号線国府橋上流)	7月16日	鳥取市立宮ノ下小学校	56	I	
	袋川	8	大杵	鳥取市大杵(市道大杵橋線大杵橋下流)	9月12日	鳥取市立日進小学校	39	I	
天神川	天神川	1	竹田橋	鳥取県倉吉市竹田橋	8月7日	明倫小学校	23	I	倉吉河川国道事務所
	天神川	2	小田橋	鳥取県倉吉市小田橋	8月28日	上北条小学校	28	I	
	小鴨川	3	上小鴨水辺の楽校	鳥取県倉吉市福山	9月9日	上小鴨小学校	14	I	
	小鴨川	4	下大江親水公園	鳥取県倉吉市下大江	7月11日	小鴨小学校	65	I	
	小鴨川	5	小鴨橋	鳥取県倉吉市河原町	9月3日	高城小学校	20	I	
	国府川	6	国分寺	鳥取県倉吉市国分寺	9月10日	社小学校	60	I	
	国府川	7	高城水辺の楽校	倉吉市上福田地先(上福田橋左岸側下流)	9月13日	三朝町立西小学校	22	I	
	三徳川	8	大瀬水辺の楽校	東伯郡三朝町大瀬地先(加茂橋右岸側上流)	7月30日	倉吉東学童クラブ	23	I	
日野川	日野川	1	車尾堰	鳥取県米子市上福原地先	7月30日	米子子どもエコクラブ	29	I	日野川河川事務所
	日野川	2	伯耆橋	鳥取県西伯郡伯耆町吉定地先	7月31日	岸本小学校	33	II	
	日野川	3	鬼守橋	鳥取県西伯郡伯耆町溝口地先	7月28日	溝口小学校	13	I	
	法勝寺川	4	五ヶ堰下流	鳥取県西伯郡南部町馬場地先	8月5日	法勝寺中学校	4	I	
	秋原川	5	日南湖湖畔	鳥取県日野郡日南町中原地先	9月8日	直営	-	I	
		21 地点			小学校 15 校	520人	I (20) 95%		
					中学校 1 校	4人			
					高校 0 校	0人			II (1) 5%
					大学 0 校	0人			III (0) 0%
					一般 2 団体	52人			IV (0) 0%
					計 18 団体	576人			

表-3 水生生物による水質の簡易調査「平成26年度実施結果」(島根県)

(水質階級 I:きれいな水 II:ややきれいな水 III:きたない水 IV:とてもきたない水)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地先名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H26判定水質階級	備考
斐伊川	飯梨川	1	布部小学校付近	島根県安来市広瀬町布部	7月1日	安来市立布部小学校	10	I	出雲河川事務所
	神戸川	2	馬木大橋	島根県出雲市馬木町馬木	7月2日	出雲市立神戸川小学校	93	I	
	斐伊川	3	横田大橋	島根県仁多郡奥出雲町横田	7月2日	奥出雲町横田公民館	20	I	
	神戸川	4	佐田中学校付近	島根県出雲市佐田町八幡原	7月10日	出雲市立佐田中学校	23	I	
	天神川	5	天神橋	島根県松江市寺町	7月20日	自然再生センター	19	III	
	神戸川	6	わかあゆの里	島根県出雲市乙立町	8月2日	出雲西高等学校	18	I	
	亀嵩川	7	前田橋	島根県仁多郡奥出雲町亀嵩	8月7日	奥出雲町立亀嵩公民館	10	I	
	神戸川	8	朝山小学校付近	島根県出雲市所原町	9月5日	出雲市立朝山小学校	40	II	
	斐伊川	9	鳥上 わくわくブー	島根県仁多郡奥出雲町竹崎	9月9日	奥出雲町立馬木小学校	13	I	
	斐伊川	10	木次町水辺の楽校	島根県雲南市木次町藤上	9月9日		13	I	
	斐伊川	11	斐川なぎさ公園	島根県出雲市斐川町沖洲	9月9日		13	II	
	忌部川	12	忌部公民館付近	島根県松江市東忌部町	9月10日	松江市立忌部小学校	14	I	
					10月25日	松江市わかわくサイエンスクラブ	20		
	伯太川	13	井尻小学校付近	島根県安来市伯太町井尻	9月11日	安来市立井尻小学校	13	I	
	玉湯川	14	大谷小学校付近	島根県松江市玉湯町大谷	9月12日	松江市立大谷小学校	9	II	
	玉湯川	15	玉湯橋	島根県松江市玉湯町大谷	9月19日	松江市立玉湯小学校	51	I	
	斐伊川	16	北神立橋下流	島根県出雲市武志町	9月22日	出雲市立北陽小学校	121	II	
	飯梨川	17	飯梨橋	島根県安来市赤江町	9月26日	安来市立赤江小学校	47	I	
	飯梨川	18	広瀬餅センター付近	島根県安来市赤江町	10月10日	安来市立能義小学校	15	I	
	朝酌川	19	比加夜神社付近	島根県松江市坂本町	10月17日	松江市立朝酌小学校	17	I	
	斐伊川	20	天ヶ淵	島根県雲南市木次町湯村	10月18日	雲南市わかわくサイエンスクラブ	10	II	
	斐伊川	21	里熊大橋下	島根県雲南市木次町里方	10月18日		10	II	
	中海	22	本庄水辺の楽校	島根県松江市邑生町	10月22日	松江市立本庄幼稚園	9	III	
	中海	23	美保関小学校付近	島根県松江市美保関町下宇部尾	10月24日	松江市立美保小学校	13	III	
	忌部川	24	福富橋	島根県松江市乃木福富町	10月25日	松江市わかわくサイエンスクラブ	20	II	
	忌部川	25	千本橋	島根県松江市東忌部町	10月25日		20	II	
	久野川	26	木次小学校付近	島根県雲南市木次町木次	10月30日	雲南市立木次小学校	20	I	
	三刀屋川	27	三刀屋橋	島根県雲南市三刀屋町三刀屋	12月24日	直営	-	II	
	宍道湖	28	宍道湖西岸なぎさ公園	島根県出雲市島村町	12月24日	直営	-	III	
宍道湖	29	秋鹿なぎさ公園	島根県松江市岡本町	12月24日	直営	-	II		
高津川	高津川	1	飯田	島根県益田飯田町	7月29日	高津中学校	32	I	浜田河川国道事務所
	高津川	2	河成	島根県益田市虫追町河成	7月15日	直営	-	I	
	高津川	3	神田	島根県益田市神田町神田(神田大橋上流左岸)	7月22日	直営	-	I	
匹見川	4	横田	島根県益田市向横田町大流(横田橋上流左岸)	6月23日	西益田小学校、横田中学校	68	I		
					西益田小学校	38			
					横田中学校	30			
江の川	江の川	1	市村	島根県江津市松川町市村(松川橋下流右岸)	6月20日	郷田小学校	31	I	
	江の川	2	川戸	島根県江津市桜江町川戸(桜江大橋上流左岸)	6月24日	桜江小学校	14	I	
					7月2日	桜江中学校	19	II	
	江の川	3	粕淵	島根県邑智郡美郷町浜原(浜原大橋下流右岸)	6月19日	邑智中学校	21	I	
	江の川	4	長藤	島根県邑智郡美郷町長藤(道の駅グリーンロード大和付近)	7月30日	大和中学校	6	II	
江の川	5	都賀本郷	島根県邑智郡美郷町都賀西(都賀大橋左岸付近)	6月11日	大和小学校	9	I		
		38 地点			小学校 18校	594人	I (23) 59%		
				中学校 6校	131人	II (12) 31%			
				高校 1校	18人			III (4) 10%	
				大学 0校	0人	IV (0) 0%			
				一般 6団体	138人				
				計 31 団体	881人				

表-3 水生生物による水質の簡易調査「平成26年度実施結果」(岡山県)

(水質階級 I:きれいな水 II:ややきれいな水 III:きたない水 IV:とてもきたない水)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H26判定水質階級	備考
吉井川	金剛川	1	宮橋	岡山県和気郡和気町尺所地先	6月26日	和気町立本荘小学校	53	II	岡山河川事務所
	吉井川	2	和気橋	岡山県和気郡和気町田原下地先	7月24日	和気町立和気中学校	7	II	
					9月12日	和気町立石生小学校	12	II	
	吉井川	3	熊山橋	岡山県赤磐市千鉢地先	7月28日	赤磐市立磐梨中学校	8	II	
	吉井川	4	弓削橋	岡山県岡山市瀬戸町二日市地先	9月30日	直営	-	III	
吉井川	5	備前大橋	岡山県瀬戸内市長船町福岡地先	9月30日	直営	-	II		
旭川	旭川	1	新大原橋	岡山県岡山市牟佐地先	7月29日	岡山市立高島中学校	15	II	
					8月7日	関西高校・岡山理科大学・岡山理科大学付属高校	12	II	
	旭川	2	三野	岡山県岡山市三野地先	8月5日	直営	-	II	
					8月7日	関西高校・岡山理科大学・岡山理科大学付属高校	12	II	
	旭川	3	クラレ取水堰下流	岡山市中区竹田地先	8月7日		12	II	
	旭川	4	中井出井堰上流側	岡山市北区玉柏地先	8月7日		12	II	
	旭川	5	明星堰周辺	岡山市中区今在家地先	8月30日		12	II	
	旭川	6	岡北大橋下	岡山市中区竹田地先	8月30日		12	II	
百間川	7	せせらぎ広場	岡山市中区今在家地先	8月30日	12		I		
百間川	8	獺川原橋	岡山市中区東川原地先	8月30日	12	II			
高梁川	高梁川	1	湛井堰	岡山県総社市橋本地先	7月22日	総社市立総社西中学校	13	II	
	高梁川	2	川辺橋	岡山県倉敷市真備町川辺地先	7月16日	直営	-	II	
	小田川	3	福松橋	岡山県倉敷市真備町松尾地先	7月16日	直営	-	II	
	高梁川	4	酒津	岡山県倉敷市酒津地先	7月16日	直営	-	II	
		17 地点			小学校 2校	65人	I (1) 5% II (18) 90% III (1) 5% IV (0) 0%		
					中学校 4校	43人			
					高校 1校	72人			
					大学 1校	24人			
					一般 0団体	0人			
					計 8団体	204人			

表-3 水生生物による水質の簡易調査「平成26年度実施結果」(広島県)

(水質階級 I:きれいな水 II:ややきれいな水 III:きたない水 IV:とてもきたない水)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地先名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H26判定水質階級	備考	
江の川	馬洗川	1	駅前水管橋上流	広島県三次市三良坂町三良坂	6月24日	三次市立三良坂小学校	32	II	三次河川国道事務所	
	美波羅川	2	大滝橋下流	広島県三次市大田幸町	9月8日	三次市立田幸小学校	13	II		
	馬洗川	3	八次河川敷	広島県三次市島敷町(鳥居橋下流)	9月11日	三次市立八次小学校	67	II		
	馬洗川	4	十日市親水公園	広島県三次市十日市町	6月26日	三次市立十日市小学校	109	I		
	江の川	5	桂地区水辺の楽校	広島県安芸高田市吉田町桂	6月16日	安芸高田市立郷野小学校	11	II		
	江の川	6	山手沖排水樋門上流	広島県安芸高田市吉田町山手	9月11日	安芸高田市立可愛小学校	22	II		
	大土川	7	小田東小学校裏	広島県安芸高田市甲田町高田原	9月9日	安芸高田市立小田東小学校	17	II		
	本村川	8	五龍橋下流	広島県安芸高田市甲田町上甲立	9月29日	安芸高田市立甲立小学校	15	II		
	江の川	9	石見堂橋下流	広島県安芸高田市甲田町深瀬	7月14日	三次市立川地小学校	20	II		
	小似川	10	原田橋下流	広島県三次市青河町(小似川)	10月9日	三次市立青河小学校	8	I		
	江の川	11	祝橋下流	広島県三次市粟屋町	9月18日	三次市立三次小学校	54	I		
芦田川	芦田川	1	大井手頭首工	府中市久佐町地先	8月20日	福山市立中央中学校、福山市立城西中学校	6	II	福山河川国道事務所	
	芦田川	2	府中大橋(新橋)	府中市土生町地先	7月28日	めだかの学校	16	II		
	芦田川	3	山手橋	福山市山手町地先	8月1日	(学校法人) 盈進学園 盈進中学高等学校	13	II		
	高屋川	4	白鷺橋	福山市神辺町川南地先	8月20日	福山市立中央中学校、福山市立城西中学校	6	III		
太田川	太田川	1	柴木川下流	広島県山県郡安芸太田町吉和郷地先	7月2日	安芸太田町立戸河内中学	24	I	太田川河川事務所	
	太田川	2	新轟橋	広島県山県郡安芸太田町上殿地先(中国縦貫道 戸河内I.C付近)	9月9日	安芸太田町立殿賀小学校	7	I		
	太田川	3	加計	広島県山県郡安芸太田町加計見入ヶ崎地先(丁川合流点 下流付近)	9月19日	広島県立加計高等学校	16	I		
	太田川	4	高山川下流	広島市安佐北区安佐町宇賀地先(高山川合流点付近)	7月24日	広島市立小河内小学校	10	I		
	太田川	5	壬辰橋	広島県安佐北区安佐町毛木地先	10月9日	直営	-	II		
	太田川	6	太田川橋	広島県安佐南区佐東町八木細野土手外(国道54号太田川橋上流右岸)	8月1日	広島県立可部高等学校	9	I		
	太田川	7	安佐大橋	広島県安佐南区八木8丁目地先(安佐大橋上流 左岸)	9月24日	広島県立祇園北高等学校	13	II		
	根谷川	8	新川橋	広島市安佐北区可部東1丁目地先	8月1日	広島県立可部高等学校	9	I		
	三篠川	9	深川橋	広島県安佐北区深川2丁目地先(深川橋下流)	10月20日	直営	-	I		
	古川	10	第一古川	広島県安佐南区八木1丁目地先(第一古川八木梅林橋付近)	10月20日	直営	-	II		
	古川	11	第二古川	広島県安佐南区緑井5丁目地先(第一古川との合流点)	9月19日	広島市立大河小学校	21	II		
	古川	12	大下	広島県安佐南区緑井1丁目地先(山陽自動車道横過地点 直下流)	7月25日	広島市立東原中学校	15	II		
	古川	13	神田橋	広島県安佐南区中筋1丁目地先(安川との合流点付近)	7月25日		15	II		
	古川	14	松原橋	広島県安佐南区中筋1丁目地先(松原橋上流)	10月20日	直営	-	II		
小瀬川	小瀬川	1	小川津	山口県岩国市小川津地先(小川津橋下流)	9月26日	直営	-	I		
	小瀬川	2	御堂原	広島県大竹市穂仁原地先(乙瀬橋付近)	9月26日	直営	-	I		
	小瀬川	3	両国橋	広島県大竹市木野地先(両国橋下流)	9月26日	直営	-	I		
		32 地点				小学校 14校	406人	I (13) 41%		
						中学校 5校	79人			
						高校 3校	47人			II (18) 56%
						大学 0校	0人			III (1) 3%
						一般 1団体	16人			IV (0) 0%
						計 23 団体	548人			

表-3 水生生物による水質の簡易調査「平成26年度実施結果」(山口県)

(水質階級 I:きれいな水 II:ややきれいな水 III:きたない水 IV:とてもきたない水)

水系名	河川名	地点番号	調査地点名	調査地点地先名	調査月日	調査団体名等	参加人数	H26判定水質階級	備考
佐波川	佐波川	1	堀	山口市徳地堀(出雲合橋上流右岸)	7月25日	直営	—	I	山口河川国道事務所
	佐波川	2	漆尾	山口市徳地伊賀地(尾蔵堰下流左岸)	7月25日	直営	—	I	
	佐波川	3	小野水辺の楽校	防府市奈美(奈美堰下流右岸)	7月28日	防府市立小野小学校、防府市立桑山中学生	22	I	
	8月21日				小野水辺の楽校空間利用を考える会	20			
	佐波川	4	本橋	防府市上右田(本橋下流左岸)	7月25日	防府市立右田中学校、佐波川に学ぶ会	23	I	
	10月5日				防府市青少年科学館ソラール	22			
	10月8日				防府市立佐波川小学校	84			
		4 地点			小学校 2校	95人	I (4) 100%		
					中学校 2校	22人			
					高校 0校	0人		II (0) 0%	
					大学 0校	0人		III (0) 0%	
					一般 3団体	54人		IV (0) 0%	
					計 7団体	171人			

Table with columns for river name, location, date, and various water quality indicators. The table is organized by river basin (千代川, 天神川, 日野川, 豊川, 高津川, 江の川, 三好川, 高良川, 吉野川, 尾川, 太田川, 小瀬川, 佐渡川).

(環境省同時発表)

平成 27 年 6 月 2 日 (火)
水管理・国土保全局河川環境課

平成 26 年度全国水生生物調査の結果及び 平成 27 年度の調査の実施について (お知らせ)

- 水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するため、また環境問題への関心を高めるため、環境省と国土交通省では、一般市民等の参加を得て全国水生生物調査を実施しています。
- 平成 26 年度の全国水生生物調査は約 60,000 人の参加を得て行われ、夏休み期間を中心として、多くの学校 (小中学校等：約 38,000 人) や、市民団体等 (市民団体・子供会・観察会等：約 17,000 人) から参加が得られました。
- 全国の調査地点 2,252 地点のうち、全体の 61% の地点でサワガニやカワゲラ類等の指標生物の生息が確認され、「きれいな水」と判定されました。
- 本年度も調査を実施しますので、是非御参加下さい。

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

企画専門官 武田 淳史 (内線 35-443)

係長 千葉 亮輔 (内線 35-482)

TEL 03-5253-8111 (代表)、03-5253-8447 (直通)

FAX 03-5253-1603

環境省 水・大気環境局 水環境課

課長 二村 英介 (内線 6610)

担当 田中 道雄 (内線 6622)

TEL 03-3581-3351 (代表)、03-5521-8304 (直通)

FAX 03-3593-1438

1. 全国水生生物調査とは

河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として水質を判定することができます。このような調査は、一般の人にもわかりやすく、高価な機材等を要しないことから誰でも簡単に参加できるという利点があります。また、調査を通じて身近な自然に接することにより、環境問題への関心を高める良い機会となるため、環境省と国土交通省では、昭和 59 年度から全国水生生物調査を実施しています。

2. 平成 26 年度調査結果の概要

(1) 調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、[1]全国各地に広く分布し、[2]分類が容易で、[3]水質に係る指標性が高い、29 種を指標生物としました。

河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ(きれいな水)、Ⅱ(ややきれいな水)、Ⅲ(きたない水)、Ⅳ(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しました。

(2) 調査結果

○参加者数

平成 26 年度の参加者は 59,896 人（前年度 59,053 人）でした。

	参加者数	参加団体数	調査地点数
合計	59,896 人	1,564 団体	2,252 地点
一級河川※1	17,002 人	473 団体	522 地点
その他の河川※2	42,894 人	1,091 団体	1,730 地点

※1：一級河川大臣管理区間 ※2：一級河川都道府県管理区間及び二級河川等（※1以外）

○水質判定結果

平成 26 年度は、全調査地点の 61%の地点で「きれいな水」と判定され、前年度(59%)と同様の状況でした。

	合計	一級河川	その他の河川
Ⅰ きれいな水	61%	65%	60%
Ⅱ ややきれいな水	25%	28%	24%
Ⅲ きたない水	8%	4%	9%
Ⅳ とてもきたない水	3%	0%	4%
判定不能	3%	2%	4%

※四捨五入による端数処理のため内数の合計が 100%にならないことがあります。

3. 平成 27 年度調査の実施について

平成 27 年度も引き続き、全国水生生物調査を実施します。

なお、平成 25 年度より新しい指標生物にて調査しております。詳しくは下記お問合せ先へお尋ねください。

(参考) 水質階級と指標生物

水域	川の水のよごれ (水質ランク)	新		旧	
淡水域	きれいな水(Ⅰ)	1	ナミウズムシ	1	ナミウズムシ
		2	サワガニ	2	サワガニ
		3	ヒラタカゲロウ類	3	ヒラタカゲロウ類
		4	カワゲラ類	4	カワゲラ類
		5	ヘビトンボ	5	ヘビトンボ
		6	ナガレトビケラ類	6	ナガレトビケラ類
		7	ヤマトビケラ類	7	ヤマトビケラ類
		8	ブユ類	8	ブユ類
		9	アミカ類	9	アミカ類
		10	ヨコエビ類		
	きれいな水(Ⅰ)～ ややきれいな水(Ⅱ) (指標としない)	1	ヒゲナガカワトビケラ類		
		2	ニンギョウトビケラ類		
		3	タニガワカゲロウ類		
		4	チラカゲロウ		
	ややきれいな水(Ⅱ)	1	カワニナ類	1	カワニナ類
				2	スジエビ
		2	コオニヤンマ	3	コオニヤンマ
		3	コガタシマトビケラ類	4	コガタシマトビケラ類
		4	オオシマトビケラ	5	オオシマトビケラ
		5	ヒラタドロムシ類	6	ヒラタドロムシ類
	6	ゲンジボタル	7	ゲンジボタル	
	きたない水(Ⅲ)	1	タニシ類	1	タニシ類
		2	シマイシビル	2	シマイシビル
		3	ミズムシ	3	ミズムシ
			4	タイコウチ	
4	ミズカマキリ	5	ミズカマキリ		
とてもきたない水(Ⅳ)	1	サカマキガイ	1	サカマキガイ	
	2	エラミミズ	2	エラミミズ	
	3	アメリカザリガニ	3	アメリカザリガニ	
	4	ユスリカ類	4	ユスリカ類	
	5	チョウバエ類	5	チョウバエ類	
汽水域	ややきれいな水(Ⅱ)	1	ヤマトシジミ	1	ヤマトシジミ
		2	イシマキガイ	2	イシマキガイ
	きたない水(Ⅲ)	1	イソコツブムシ類	1	イソコツブムシ類
		2	ニホンドロソコエビ	2	ニホンドロソコエビ

(お問い合わせ先)

- 各都道府県の環境部局

https://www2.env.go.jp/water-pub/mizu-site/mizu/suisei/etsuran/list_pref.html

- 各地方整備局等の窓口(一級河川直轄管理区間)

http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/kankyou/suisitu/toiawase.html

平成26年度全国水生生物調査結果

1. 参加人数及び参加団体数

平成26年度の参加人数は**59,896**人であった。
 うち、一級河川※1は**17,002**人であり、その他の河川※2は42,894人であった。また、参加団体数は**1,564**団体で、うち一級河川は**473**団体であった。
 参加団体別の参加人数は小学校での参加が最も多く、次いで中学校、その他の学校の順番であった。
 都道府県別の参加者数では岐阜県が最も多く、次いで愛知県、岩手県の順番であった。

参加者数の多い都道府県

順位	都道府県名	参加人数	うち一級河川
1	岐阜	6,082	498
2	愛知	4,817	719
3	岩手	4,648	250
4	三重	3,487	1,407
5	北海道	2,677	2,544

※1 一級河川大臣管理区間（以下「一級河川」と言う）

※2 一級河川都道府県管理区間及び二級河川等※1以外の河川（以下「その他の河川」と言う）

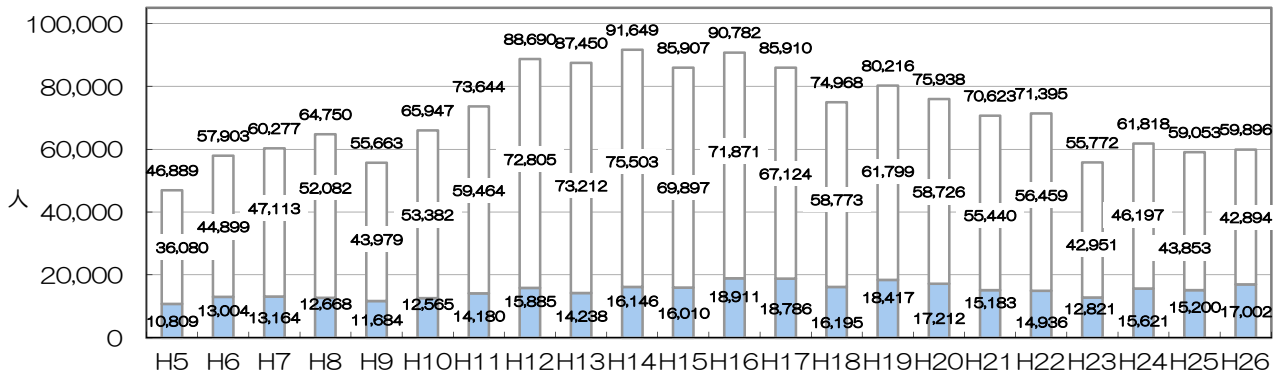


図-1 参加人数の推移

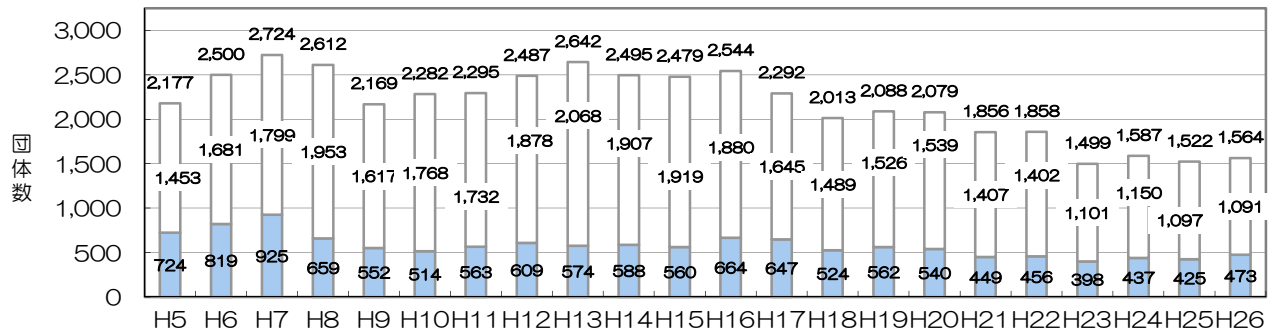


図-2 参加団体数の推移

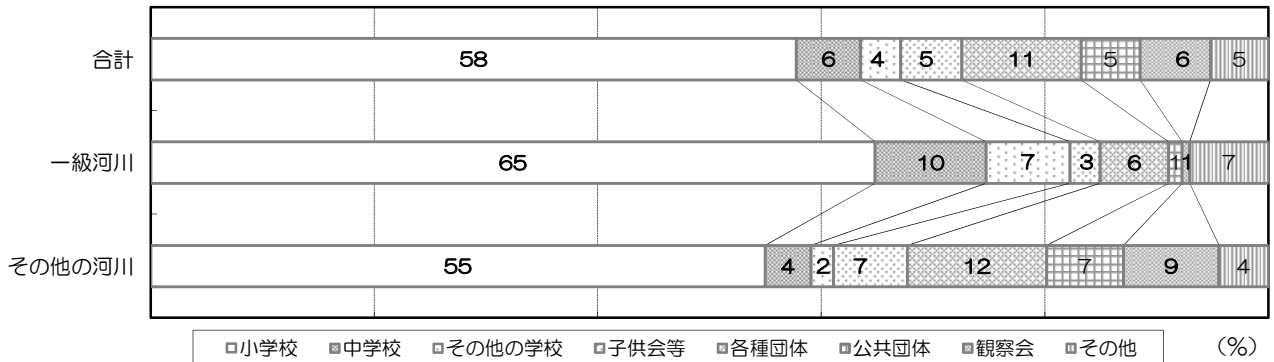


図-3 参加人数の団体種類別構成比

※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

2. 調査地点数

調査地点数は2,252地点であった。

内訳は、一級河川は522地点、その他の河川は1,730地点であった。

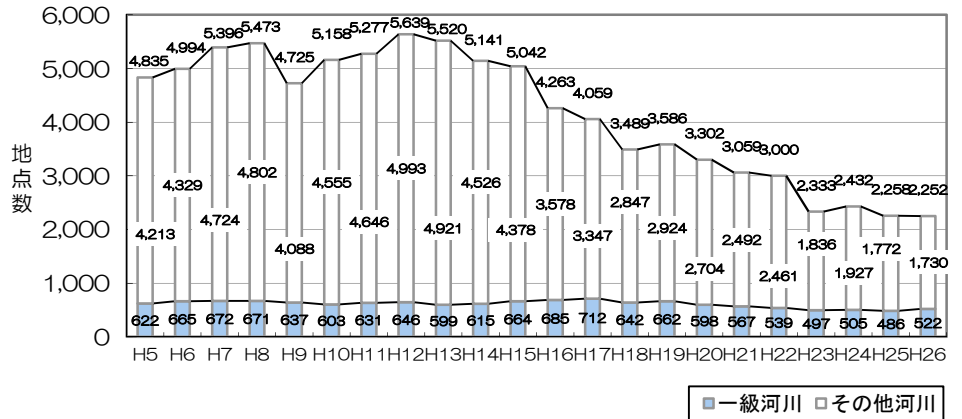


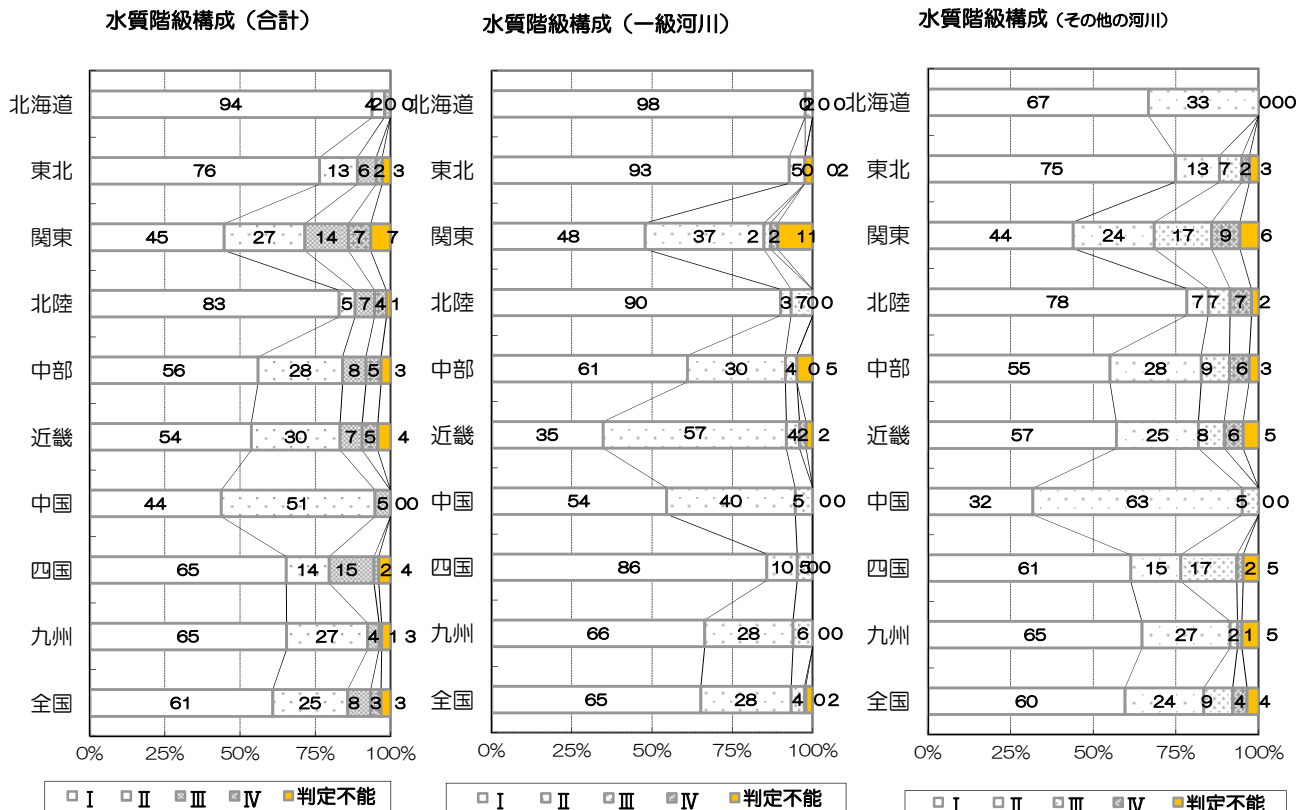
図-4 調査地点数の推移

3. 地域別水質階級構成（地域別の水質の状況）

本調査は、調査地点を参加者が任意に選定するため、我が国の河川の状況を正確に代表したものではない。しかし、多数の地点で調査されているため、全国の水質の状況を概括的に知ることができると考えられる。

平成26年度は、全国で水質階級Ⅰ（きれいな水）と判定された地点が61%、Ⅱ（ややきれいな水）が25%、Ⅲ（きたない水）が8%、Ⅳ（とてもきたない水）が3%であった。

Ⅰ（きれいな水）の割合で見ると関東、中国地方は50%以下であったが、北海道は90%以上の高い値であった。各地方の一級河川とその他の河川のⅠ（きれいな水）の構成比は全般に似通った値であるが、近畿地方はその他の河川の方がⅠ（きれいな水）の構成比が高く、北海道、東北、北陸、中国、四国地方等では逆に一級河川の方が高いなど地域による差も生じている。



※判定不能の数値ラベルは図中に表示していない。
四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

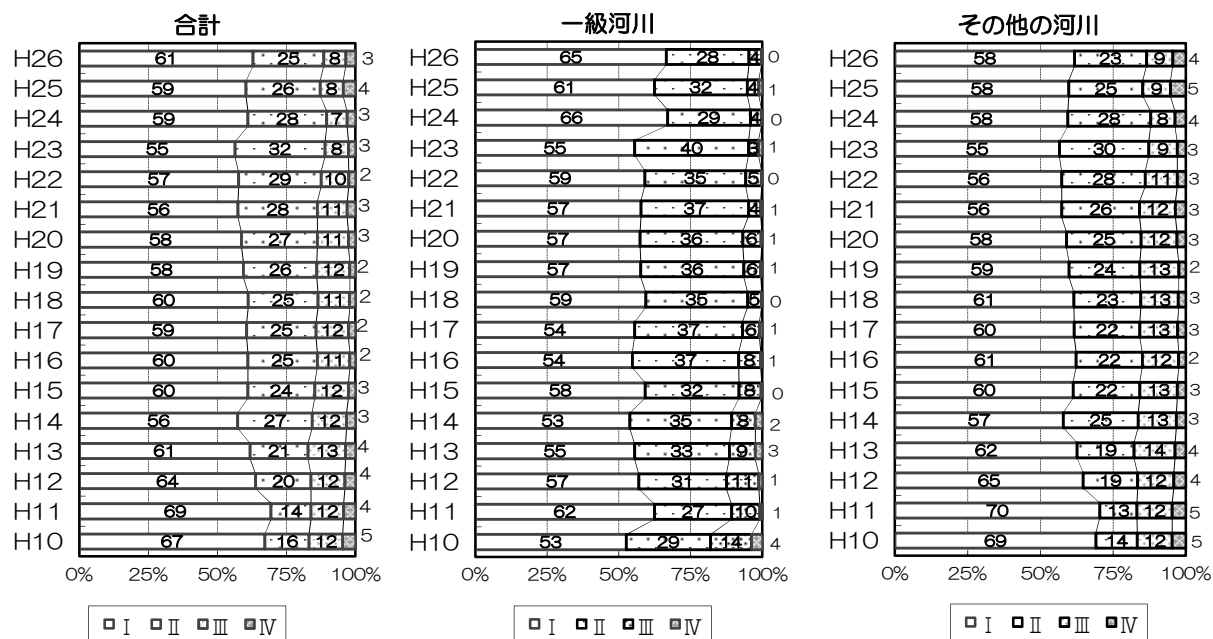
図-5 地域別水質階級構成比

4. 水質階級構成比の年次推移

全国の全調査地点の水質階級構成比を図6に示した。

平成11年度をピークに、I（きれいな水）と判定された地点の割合は減少傾向にあったが、平成14年度以降は55～60%前後でほぼ横這いとなっている。本年度は、I（きれいな水）と判定された地点の割合が昨年度より2ポイント高く、61%であった。

なお、年次ごとの調査地点については相違しており、必ずしも同地点を比較したものではない。

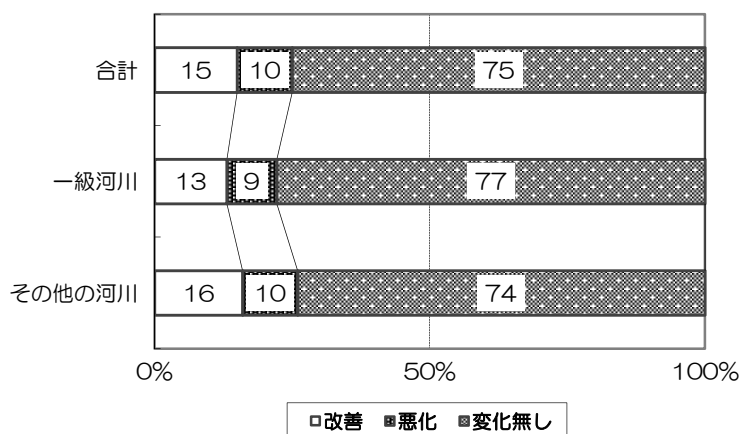


※1 判定不能地点の扱い及び四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。
 ※2 平成12年度から調査手法を変更しているため、平成12年度と平成11年度以前との厳密な比較はできない。

図-6 水質階級構成比の年次推移

5. 前年度（H25）との比較

前年度と同じ地点で調査された1,006地点について比較すると、15%の地点が改善、10%の地点が悪化、75%の地点が同じ水質階級であった。



※四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならないことがある。

図-7 同一調査地点での昨年度との比較

全国水生生物調査の概要

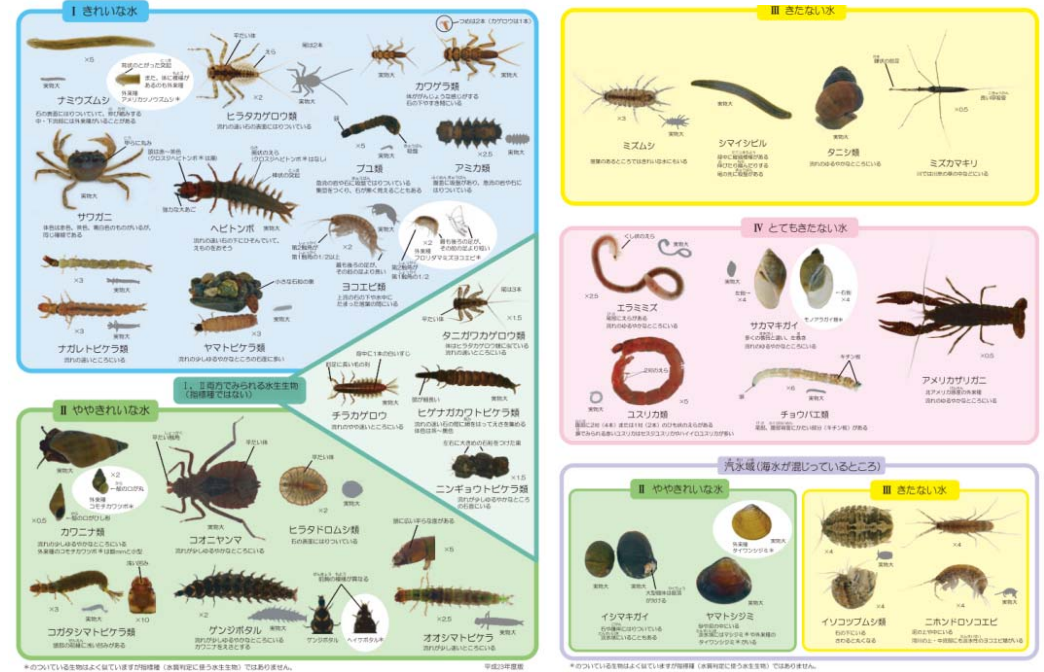
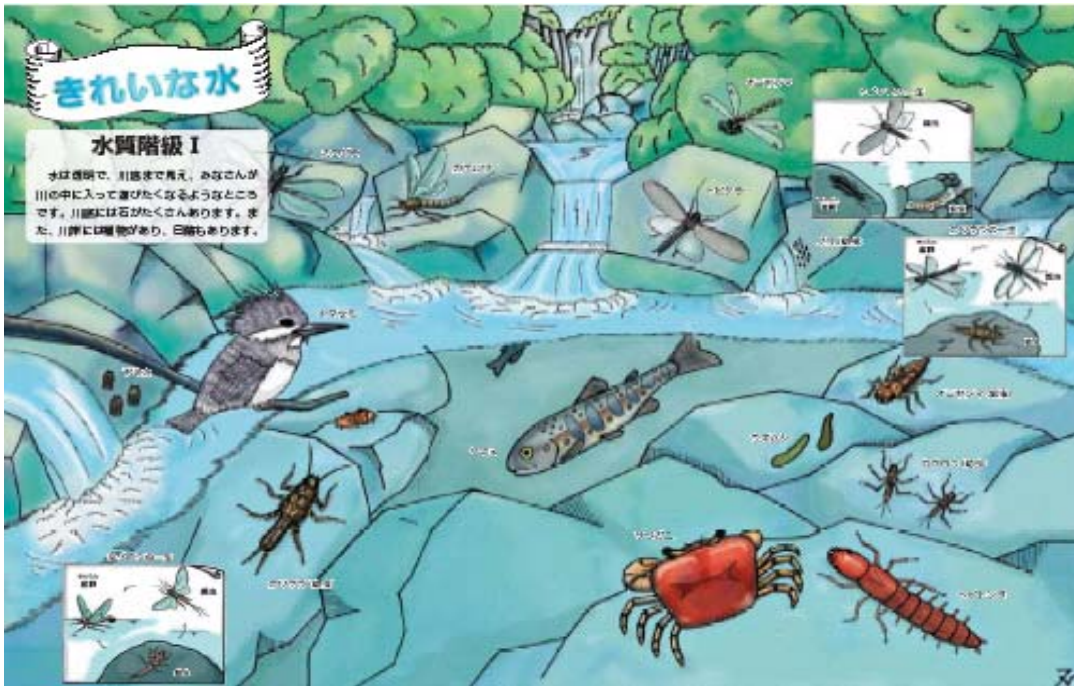
【参考1】

川の中には様々な生きものが住んでいます、特に川底に住んでいる生きものは、過去から調査時点までの長い時間の水質の状況を反映したものであり、どのような生きものが住んでいるかを調べることで、その地点の水質の程度を知ることができます。この調査は、適切な指導のもと、小学生、中学生、高校生、一般の人々のだれもが簡単にできるようになっています。

調査方法

本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29種を指標生物としています。河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点毎に、I(きれいな水)、II(ややきれいな水)、III(きたない水)、IV(とてもきたない水)の4階級で水質の状況を判定しています。

水質階級と指標生物



きれいな水 (I) の指標生物		ややきれいな水 (II) の指標生物	
ナミウズムシ	サワガニ	カワナ類	コオニヤンマ
ヒラタカゲロウ類	カワガラ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ
ヘビトンボ	ナガレトビケラ類	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル
ヤマトビケラ類	プユ類	○ ヤマトシジミ	○ イシマキガイ
アマカ類	ヨコエビ類		
きたない水 (III) の指標生物		とてもきたない水 (IV) の指標生物	
タニシ類	シマイシビル	サカマキガイ	エラミミズ
ミズムシ	ミズカマキリ	アメリカザリガニ	ユスリカ類
○ ニホンドロソコエビ	○ イソコツブムシ類	チョウバエ類	
I, II両方で見られる水生生物 (指標生物ではない)			
ヒゲナガカワトビケラ類	ニンギョウトビケラ類		
タニガワカゲロウ類	チラカゲロウ		

注) ○は海水の少し混ざっている汽水域の生物

平成26年度 全国水生生物調査(一級河川)の状況

【参考2】

平成26年度一級河川の全国水生生物調査では、夏休み期間を中心に、小中学校や市民団体等473団体、17,002人の多数の参加を頂き、522箇所の調査地点数となりました。参加者数の多い都道府県は、北海道、三重県、兵庫県、島根県等でした。



最上川水系最上川(H26.7.4)

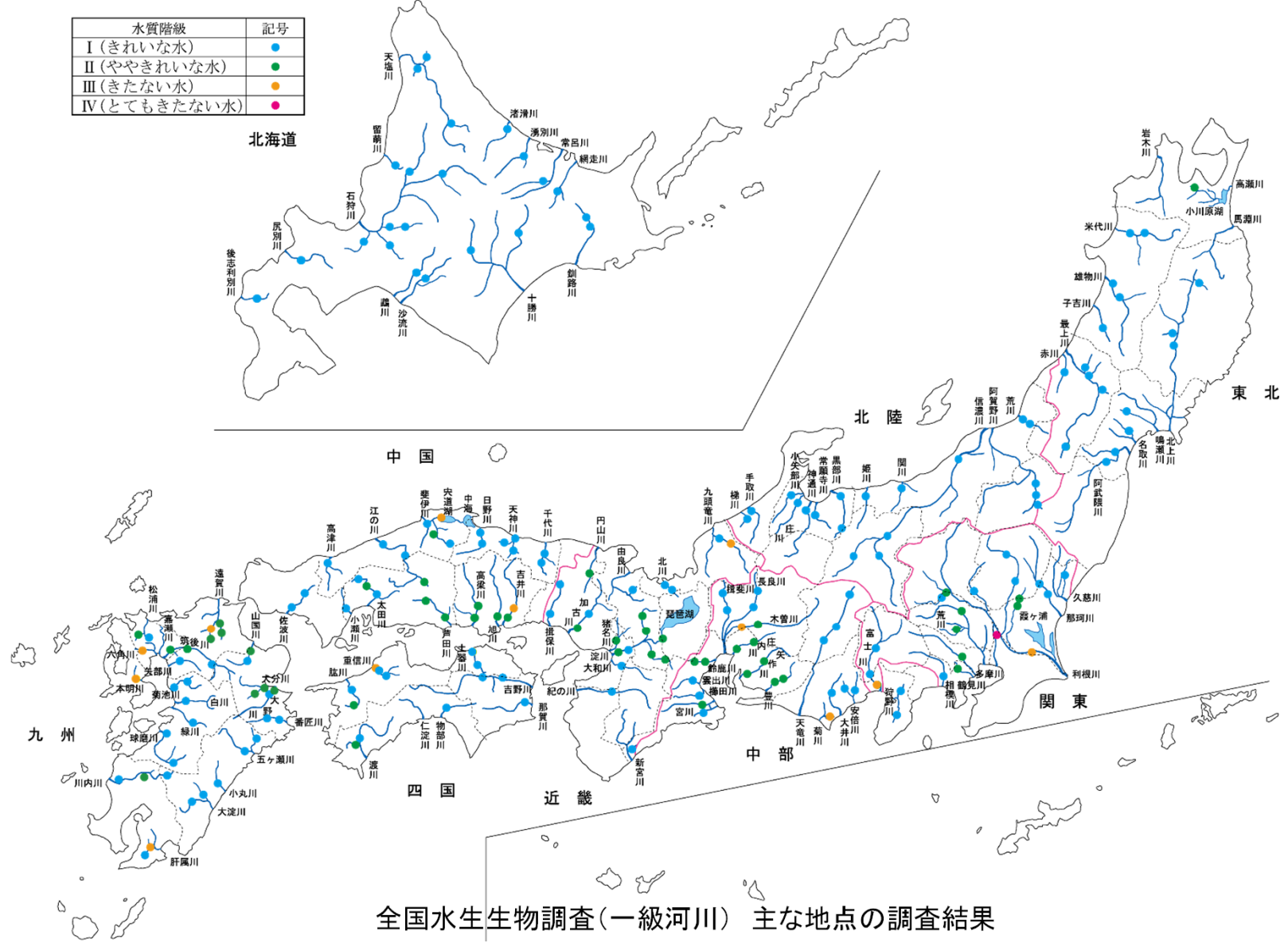


天竜川水系天竜川(H26.8.4)



川内川水系川内川(H26.9.12)

水質階級	記号
I(きれいな水)	●
II(ややきれいな水)	●
III(きたない水)	●
IV(とてもきたない水)	●



全国水生生物調査(一級河川) 主な地点の調査結果